

令和2年度 上半期

財政状況

(9月30日現在)

問 財務課(☎62-1006)

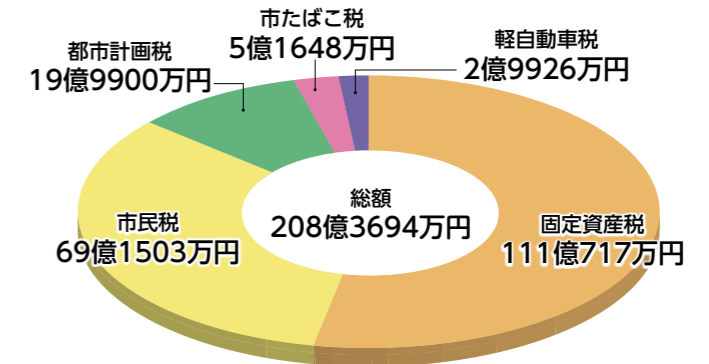
市では毎年6月と12月、税金がどのように使われたかをお知らせするため、一般会計、特別会計、企業会計の財政状況を公表しています。今回は、令和2年度上半期(9月30日現在)の予算執行状況をお知らせします。

市税の負担状況

1人当たり
136,170円

1世帯当たり
308,682円

市税収入済額内訳



市債の状況

◆一般会計

借入目的	現在高
総務債	7億976万円
民生債	5億3723万円
衛生債	9494万円
土木・公営住宅債	11億6829万円
消防債	1266万円
教育債	55億8487万円
その他	11億5058万円
計	92億5833万円

◆特別会計

会計区分	現在高
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	8277万円

◆企業会計

会計区分	現在高
水道事業	24億5509万円
下水道事業	188億4953万円
計	213億462万円

市有財産の 状況

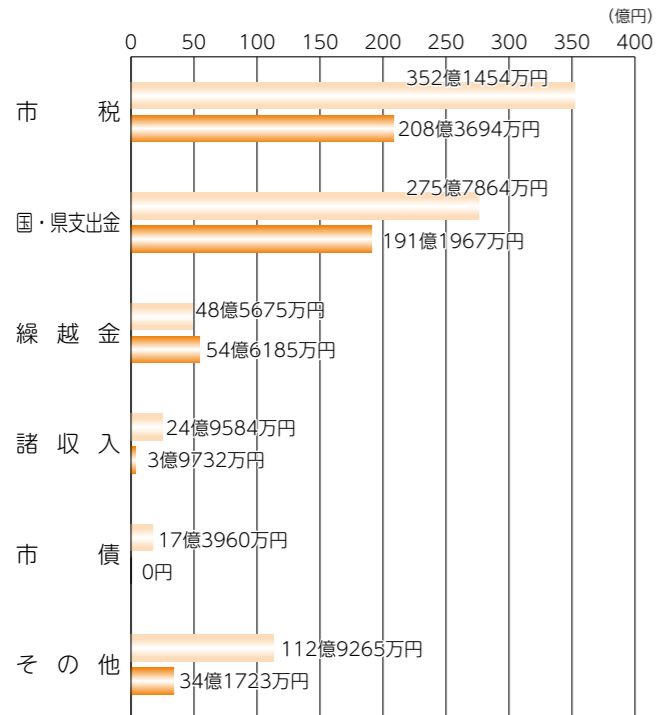
土地
3,398,526.42㎡

建物
563,513.15㎡

基金
269億5490万円

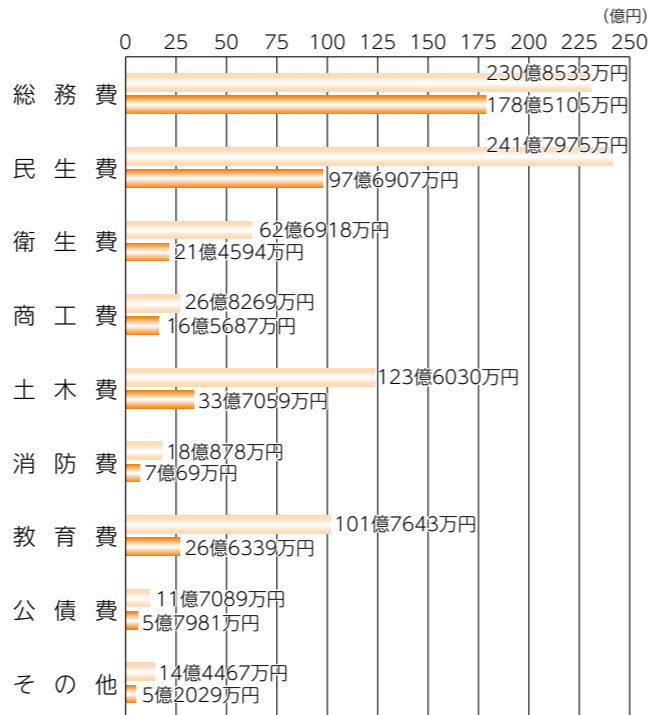
◆一般会計(歳入)

予算現額 831億7802万円
収入済額 492億3301万円
収入率 59.2%

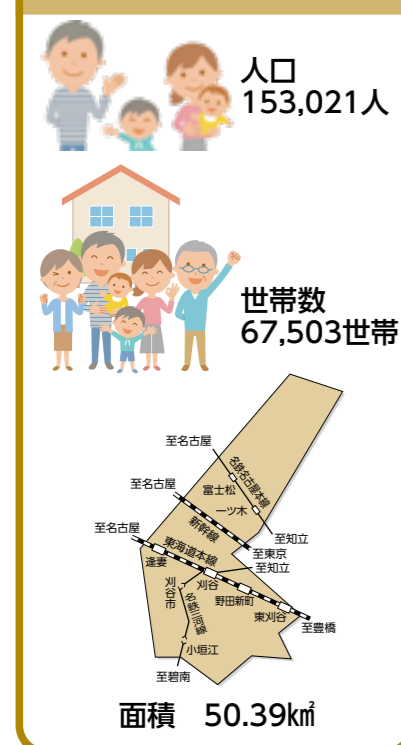


◆一般会計(歳出)

予算現額 831億7802万円
支出済額 392億5770万円
執行率 47.2%



◆基礎数値◆



◆特別会計

会計区分	予算現額	収入済額	支出済額
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	12億9620万円	11億9085万円	7538万円
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億3917万円	1億8740万円	983万円
国民健康保険	117億2830万円	53億9954万円	40億3726万円
後期高齢者医療	19億3566万円	6億6710万円	4億1187万円
介護保険	94億4084万円	45億4202万円	33億8532万円

◆企業会計

区分	予算現額	執行額
水道事業	収益的収入	28億9319万円
	収益的支出	29億9235万円
下水道事業	資本的収入	5億380万円
	資本的支出	11億6001万円
水道事業	収益的収入	35億2684万円
	収益的支出	35億2679万円
下水道事業	資本的収入	12億1813万円
	資本的支出	19億7215万円

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は毎年度、財政状況をチェックするため健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率を算定し、公表することとなっています。そこで、市の令和元年度決算に基づく数値をお知らせします(表中の「-」は、実質的な赤字、将来負担、資金不足が発生していないことを表しています)。

◆健全化判断比率

(単位：%)

指標名	刈谷市	早期健全化基準
実質赤字比率	-	11.46
連結実質赤字比率	-	16.46
実質公債費比率	△2.9	25.0
将来負担比率	-	350.0

実質赤字比率 一般会計等が黒字か赤字かを示す指標
連結実質赤字比率 全会計で見た場合の黒字か赤字かを示す指標
実質公債費比率 一般会計等が負担する公債費の比率を示す指標
将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債の比率を示す指標
早期健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

◆資金不足比率

(単位：%)

公営企業会計名	刈谷市	経営健全化基準
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計	-	20.0
刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計	-	
水道事業会計	-	
下水道事業会計	-	

資金不足比率 企業の経営が黒字か赤字かを示す指標
経営健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

総評・・・刈谷市は、全ての指標で基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。